

平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

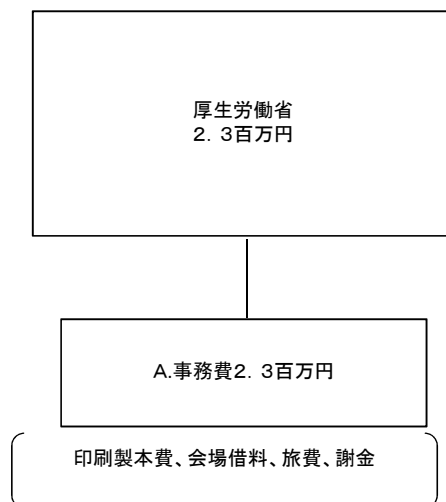
<b>事業名</b>	医療用麻薬適正使用推進事業			<b>担当部局</b>	医薬食品局			<b>作成責任者</b>
<b>事業開始年度</b>	平成19年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	監視指導・麻薬対策課			課長 赤川 治郎
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	II-3-1 規制されている乱用薬物について、不正流通の遮断及び乱用防止を推進すること			
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	がん対策基本法第9条第1項			<b>関係する計画、通知等</b>	がん対策推進基本計画			
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	医療用麻薬の適正管理と適正使用の推進を図る。							
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療関係者等向けに、医療用麻薬の適正使用推進のための講習会を開催。</li> <li>都道府県の薬務担当職員を対象に、医療用麻薬等指導監督業務研修を実施し、全国的に統一した管理・指導監督を実施。</li> </ul>							
<b>実施方法</b>	直接実施、委託・請負							
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	55	23	3	3	3	
	執行額	22	16	2				
執行率(%)	40%	70%	67%					
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
<b>定量的な成果目標の設定が困難な場合</b>	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績				
	本事業は医療用麻薬について、適正な使用・管理・指導が行われることを目的としており、成果について直接的な指標は示すことは困難である			医療用麻薬については年々消費量が増加していることから、全国的に統一した適正な使用・管理・指導を行うにより、がん疼痛患者等の生活の質(QOL)の向上を図ることを目標とし、講習会の開催等を実施した。 ※H24~H26年度の達成状況等については、活動指標及び活動実績を御参照ください。				
<b>事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績</b>	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
	間接的な指標として医療用麻薬消費量(国際麻薬統制委員会麻薬消費量単位S-DDD)を成果実績評価に活用する。S-DDD:100万人1日あたりの医療用麻薬消費量(過去3年の平均)	S-DDD ※26年度は集計中のため、25年度の実績値とした	実績	S-DDD	1,200	1,183	1,183	
			目標値	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	①講習会実施箇所数	活動実績	箇所	12	12	12		
		当初見込み	箇所	13	12	12	12	
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	②講習参加者数	活動実績	人	1,648	2,118	2,124		
		当初見込み	人	2,400	2,000	2,000	2,000	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	活動実績	当初見込み					
③研修参加者数	活動実績		人	37	38	32	
	当初見込み		人	47	47	47	47
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	①X:「当該年度の講習会実施に係る執行額」(円) / Y:「当該年度の講習会実施箇所数」						
①X:「当該年度の講習会実施に係る執行額」(円) / Y:「当該年度の講習会実施箇所数」	単位当たりコスト		円	237,750	182,584	193,293	190,000
	計算式		X/Y	2,853,000/12	2,191,000/12	2,319,511/12	2,280,000/12
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	②X:「当該年度の講習会実施に係る執行額」(円) / Y:「当該年度の講習会参加者数」						
②X:「当該年度の講習会実施に係る執行額」(円) / Y:「当該年度の講習会参加者数」	単位当たりコスト		円	1,731	1,034	1,092	1,140
	計算式		X/Y	2,853,000/1,648	2,191,000/2,118	2,319,511/2,124	2,280,000/2,000
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	③X:「当該年度の研修に係る執行額」(円) / Y:「当該年度の研修参加者数」						
③X:「当該年度の研修に係る執行額」(円) / Y:「当該年度の研修参加者数」	単位当たりコスト		円	216	368	869	592
	計算式		X/Y	8,000/37	14,000/38	27,820/32	27,820/47
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0	0				
	職員旅費	0	0				
	委員等旅費	1	1				
	医薬品審査等業務庁費	2	2				
	計	3	3				

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	がん患者の生活の質の向上を図るため、医療用麻薬の適正使用を普及させることは、国民のニーズが高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医療関係者に対し、医療用麻薬適正使用のための管理・指導等を行うことは国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	医療用麻薬の適正使用は、がん患者等の生活の質を向上させるものであり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	調達はすべて少額随意契約であるが、複数の選択肢からより低コストな会場を選定する等、適切な執行に努めている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	低コストで執行が図られており、次年度において同水準を見込んでいる。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に即した適正な執行を行っている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	講習会の開催にあたって、より効率的な執行を行えるよう会場選定を行う等した結果であり、妥当である。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	講習会等の実施について広報を通した効率的な実施を検討している。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	本事業は医療用麻薬について、適正な使用・管理・指導が行われることを目的としており、成果について直接的な指標は示すことは困難であるが、間接指標としてのS-DDDは一定の数値で推移していることから、事業の目標達成に向けて一定の効果があると認められる。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	医療用麻薬等指導監督業務研修では庁舎会議室を会場として使用する等、コスト削減を図った。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	概ね見込みどおりである。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療用麻薬について、全国的に統一して適正な管理・使用・指導が行われるために必要な事業である。</li> <li>がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会については、今後も必要な見直しを行い、適正な執行に努める。</li> <li>医療用麻薬等指導監督業務研修については、引き続き庁舎会議室を会場として使用する等の低コストで実施できた。</li> </ul>			
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>講習会については参加者数が見込みを上回ったが、医師の参加数が少なかったため、講習会の広報の方法について、各都道府県や関係学会、団体の協力を得て広報を行うなど、検討、工夫する。</li> <li>医療用麻薬等指導監督業務研修については、引き続き庁舎会議室を会場として使用し、必要経費の抑制を図る。</li> </ul>			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	点検結果も妥当であり、また、医療用麻薬の適切な使用を促進するために医療従事者や都道府県担当者への講習会等を実施するための経費であることから、引き続き必要な予算額を確保するとともに、適正な執行を図ること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	348	平成23年度	316	平成24年度	275
平成25年度	328	平成26年度	339		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



費目・使途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で表情が分かるように記載)

A.事務費			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会資料の作成	1.3			
会場借料	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会	0.5			
その他	旅費、諸謝金	0.5			
計		2.3	計		0

支出先上位10者リスト

A.事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社豊島	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会資料の印刷	1.4	随意契約	-
2	株式会社スペースネットワーク名古屋	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(会場借料)	0.2	随意契約	-
3	職員A	国内旅費	0.2	-	-
4	(株)協同施設	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(会場借料)	0.2	随意契約	-
5	職員B	国内旅費	0.1	-	-
6	職員C	国内旅費	0.1	-	-
7	公益財団法人 石川県産業創出支援機構	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(会場借料)	0.1	随意契約	-
8	職員D	国内旅費	0.1	-	-
9	福井商工会議所	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(会場借料)	0.1	随意契約	-
10	一般財団法人くびきメッセ	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(会場借料)	0	随意契約	-